



がい しょうねん パール街の少年たち

モルナール作 コヴァーチ絵 いわさきえつこ 岩崎悦子訳 かいせいしゃ 偕成社

十九世紀末のハンガリー、ブダペスト。ビルの谷間に
このころ原っぱをめぐり、二つの少年団が対立していた。パ
ール街の少年団は、自分たちの遊び場をまもるべく、赤
ヤツ団の宣戦布告に立ちむかう。人望のある団長のボカ、
小柄で病弱だがだれよりも勇敢なネメチエク、仲間をう
らぎったことを悔いるグレーブ。さ
まざまな思いが交錯するなか、つい
に決戦の日はやってきた。
暴力や卑怯な行為は禁止される
なか、少年たちは知恵をふりしほ
り、名誉をかけて戦う。

